

境町第3次地域福祉計画

～ みんなで支え合い 誰もが安心して暮らせるまち さかい ～

令和5年3月 境町



ごあいさつ

近年、我が国では、急速な少子高齢・人口減少に伴う単身世帯の増加、核家族化の増加傾向により、家族や地域社会のつながりの希薄化が進むなど社会状況が変化しています。生活困窮や高齢者・障害者・児童への「虐待」、高齢の親と無職独身や障害のある50代の子が同居する「8050問題」、介護と育児に同時に直面する「ダブルケア」、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを子どもが日常的に行っている「ヤングケアラー」など、複合的な課題を抱えており、福祉を取り巻く環境も大きく変化しています。このような人々の暮らしの変化や社会構造の変化を踏まえ、地域課題を抱えながらも、住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるよう、福祉サービスの垣根を超えた対応が求められています。



本町では、誰もが安心して暮らせる幸せな生活を推進するため、「自助」、「共助」、「公助」を重層的に組み合わせた「地域ぐるみの福祉」を推進する方針として「境町第3次地域福祉計画」を策定いたしました。本計画では、これまでの取り組みを加速すべく、誰もが住み慣れた地域の中で、豊かな人間関係や社会関係を基盤とし、お互いに支え合う心や将来への希望を持ち、住んでよかった、これからも住み続けたいと思える「ひとにやさしいまちづくり」を推進してまいります。

新型コロナウイルス感染症の流行により私たちの生活様式は大きく変化しましたが、どのような情勢にあっても、住民の皆様がいきいきと自分らしく生活できるように地域福祉、共生社会の体制づくりに向けて努めてまいりますので、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに当たり、本計画の策定にご尽力いただきました境町地域福祉計画策定委員の皆様をはじめ、アンケート調査にご協力いただきました皆様、関係団体の皆様に心から厚く御礼申し上げます。

令和5年3月

境町長 橋本正裕